

# おもしろ社会③(小4～中学生)

(このページは、直接入力できません。そのまま見るか、印刷してつかってね !!)

小学生4年生から中学生のみなさん、こんにちは。  
ここでは、岐阜市の「歴史」「地理」「自然」など、岐阜市の知恵くらべをします。みなさんが暮らしている岐阜市は、たくさんの素晴らしいことがある街です。下の問題を解きながら、岐阜市について学んでみましょう。

## 【問題】

- ① 「岐阜」という地名は、織田信長がつけたと言われています。  
では、「岐阜」になる前の地名は、何だったでしょうか。

答え. \_\_\_\_\_

- ② 弘法大師が全国行脚の途中に立ち寄り、創建したと伝えられている法華寺は、三田洞弘法として親しまれています。実は、美濃三弘法と言われているのがこの「三田洞弘法」と「北方弘法(円鏡寺)」ともう一つ、岐阜市にある乙津寺というお寺があります。この乙津寺は、何弘法と呼ばれているでしょうか。

答え. \_\_\_\_\_

- ③ JR岐阜駅北口駅前広場に「黄金の織田信長公像」があります。マントを羽織り、左手に西洋兜をもち、まっすぐ前を見つめる信長公の姿です。  
では、信長公の右手には次のア、イ、のどちらがもたれているでしょうか。

ア・・・洋風の刀

イ・・・鉄砲

答え. ① 井口 ② 鏡島弘法 ③ イ 鉄砲

①について、永禄10(1567)年、齋藤道三の孫、齋藤龍興を退け、美濃の国を手中にした

織田信長は、それまで「井口」と呼んでいた地名を「岐阜」と改めました。

実は、岐阜市のシンボルマークとして、「市章」というものがあります。

岐阜市の市章は、この井口から下のようなマークとなっているのです。



②について、弘仁7(816)年、弘法大師が全国行脚の途中に立ち寄り、創建したと言われる

のが、この美濃三弘法です。

岐阜市にある三田洞弘法(法華寺)

岐阜市にある鏡島弘法(乙津寺)

北方町にある北方弘法(円教寺) です。

一度、尋ねてみてくださいね。

③について、右手には、「鉄砲(種子島)」をもっています。

織田信長公は、先へ先へと世の中を眺めていた方ですね。